

事業評価シート

担当課・室長：環境保全対策課長

事業名	国際機関及び国際的枠組みの下での取り組みの推進
上位施策名	海洋環境の保全
1 事業の概要	<p>日本海、黄海のような半閉鎖的な海域において海洋環境保全のための取組を実施するためには、沿岸各国が協力して対策に取り組むことが不可欠であり国連環境計画による北西太平洋地域海計画（NOWPAP）が日本、韓国、ロシア、中国の4カ国により合意された。環境省は、NOWPAPの7つのプロジェクトのうち、環境モニタリング計画の策定に関するNOWPAP/3を中心にNOWPAPの活動を積極的に支援することとしている。</p> <p>具体的には、NOWPAP/3を構成する4つのプログラムのうち、以下の二つについて我が国がリードして実施する。</p> <p style="text-align: center;">特殊モニタリング（リモートセンシング）</p> <p style="text-align: center;">有害藻類及び沿岸モニタリング</p> <p>その他の二つのプログラム（汚染負荷の河川経由の流入及び大気経由の降下に伴う影響の評価）については、その手法の確立に向けた調査等に積極的に協力する。</p>
2 進捗状況	<p>1999年に開催された第4回政府間会合において、我が国にNOWPAP/3の活動をリードする地域活動センターが設置された。また、2000年に開かれた第6回政府間会合において、UNEPが直轄して管理運営するNOWPAP事務局である「地域調整ユニット」が我が国と韓国に共同設置されることが決定されており、今後、計画推進の中核的役割を担うことになる。</p> <p>この他、毎年1回開催されるNOWPAP政府間会合、毎年2回程度開催されるワーキンググループへ出席し他の関係国と事業実施に関する調整・意見交換等を実施。</p> <p>我が国は、特殊モニタリング・沿岸環境評価地域活動センターの設置国となっており、リモートセンシング等による特殊モニタリングの手法について研究を進めている。</p>
3 評価	<p>NOWPAPについては、前述のように制度的側面に関しては、近年大きな進展が得られている。</p> <p>他方、具体的なプロジェクトについては、一部に進展が見られるものの、全般的にその進捗が遅れており、本年9月には、NOWPAP活動の再活性化のための会合が開催される予定である。</p>

	<p>環境省としては、我が国における地域活動センターである環日本海環境協力センター(NPEC)への支援の強化等により、NOWPAP の実施の推進に向け、努力していく必要がある。</p>
4 予算事項名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 北西太平洋地域海計画活動推進費 ・ PICES 年次会議開催等経費
5 対応副施策	